

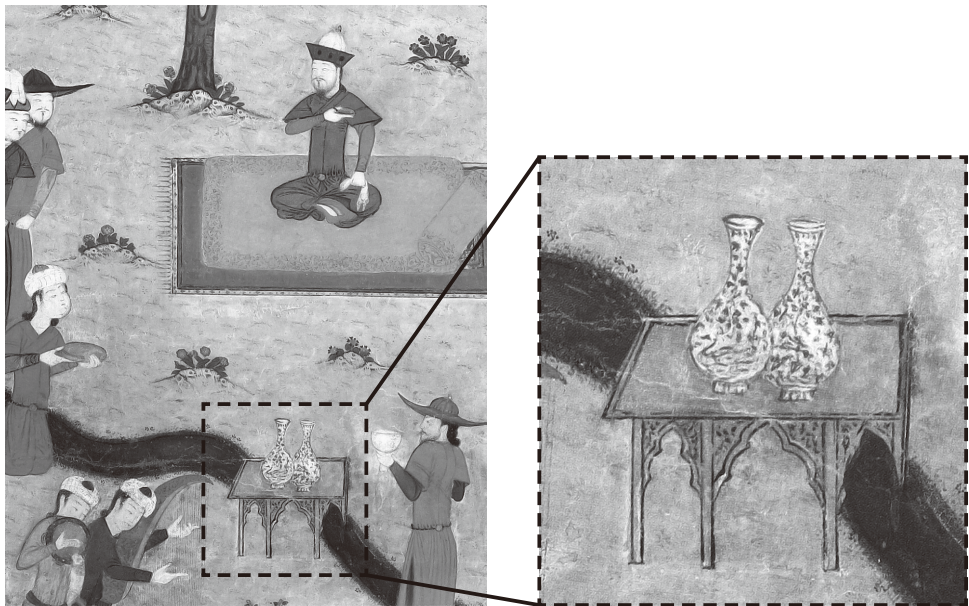
世界史 A

(解答番号 ~)

第1問 歴史の動きを考察するとき、モノや習慣に着目することが手掛かりになることがある。こうした歴史の動きとモノや習慣との関係について述べた次の文章 A～Cを読み、後の問い(問1～9)に答えよ。(配点 30)

A あるクラスで、次の図を用いて内陸アジアの遊牧民についての授業が行われている。

図 細密画に描かれた器とその拡大図



先生：まず、遊牧民の軍事について考えてみましょう。遊牧民は、その軍事力を背景にしてしばしば強大な政権を打ち立てました。

小島：④遊牧民による諸国家としては、モンゴル帝国やその一部を継承した **ア** の王朝が思い浮かびます。

先生：そのとおりですね。この図は、**ア** が遠征の勝利を祝して開催した酒宴を描いた細密画です。彼は 15 世紀初頭にアンカラの戦いでオスマン帝国に勝利するなど、強大な軍事力を誇り各地に勢力を広げました。

小島：彼は強大な帝国をつくったということですが、当時の彼らの文化はどのようなものだったのでしょうか。

先生：この細密画自体も当時の文化の代表例と言えますね。図をさらに見てみましょう。騎馬に適した遊牧民の衣装なども興味深いですが、中央下の点線で囲んだ部分に、西アジア産の青いコバルト顔料で文様を描いて絵付けをした **イ** があることに注目してください。元朝の時代に生産が盛んになったこのような器が、中国から内陸アジア・西アジアにもたらされたものだと考えられます。⑥15 世紀までにユーラシア東西の盛んな交流があったことを象徴しているように見えますね。

問 1 文章中の空欄 **ア** の人物について述べた文として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 **1**

- ① キプチャク＝ハン国の支配から脱した。
- ② サマルカンドを都とした。
- ③ マムルーク朝を滅ぼした。
- ④ フランスにカピチュレーションと呼ばれる特権を与えた。

世界史A

問 2 下線部㉔について述べた次の文あ～うが年代の古いものから順に正しく配列されているものを、後の①～⑥のうちから一つ選べ。 2

- あ モンゴル高原を支配したが、ウイグルに取って代わられた。
- い ビザンツ帝国を圧迫し、十字軍遠征のきっかけを作った。
- う 武帝の時代の前漢から攻撃を受けた。

- ① あ→い→う
- ② あ→う→い
- ③ い→あ→う
- ④ い→う→あ
- ⑤ う→あ→い
- ⑥ う→い→あ

問 3 文章中の空欄 イ に入れる語え～かと、下線部㉕について述べた文X・Yとの組合せとして正しいものを、後の①～⑥のうちから一つ選べ。 3

イ に入れる語

- え 染 付
- お 伊万里焼
- か 赤 絵

下線部㉕について述べた文

- X モンゴル帝国時代に、東西を結ぶ陸海の交易ネットワークが整備された。
- Y イエズス会宣教師が、陸路でヨーロッパと東アジアとの間を往復していた。

- ① え—X
- ② え—Y
- ③ お—X
- ④ お—Y
- ⑤ か—X
- ⑥ か—Y

B 高校生の寺島さんと先生が、20世紀のアジアやアフリカにおける政治指導者たちの服装について会話をしている。

寺島：アジアやアフリカの指導者たちが着ている服は様々ですね。

先生：彼らの服の選択には、それぞれ政治的背景がありました。例えば、ガンディーが綿の腰布をまとったのは、㉔綿をめぐる歴史を反映しています。

寺島：そう言えば以前の授業で、ムスタファ＝ケマルが服装の改革を行ったのは、近代化政策の一環であると習いました。

先生：ンクルマが現地の衣装を着たのも、ナショナリズム思想に基づくものでした。ンクルマは、日本ではエンクルマとも呼ばれます。

寺島：インドネシア国民党を結成した **ウ** は、スーツに黒い帽子を合わせた服装をしていますね。

先生：**ウ** は、洋服と現地の帽子を同時に身に着けることによって、欧米一辺倒でも民族主義者でもない立場を示そうとしたのでしょう。

問4 文章中の空欄 **ウ** に入れる人物の名あ・いと、その人物について述べた文X・Yとの組合せとして正しいものを、後の①～④のうちから一つ選べ。

4

ウ に入れる人物の名

あ ホー＝チ＝ミン

い スカルノ

人物について述べた文

X スハルトの後に政権を握った。

Y 大統領時代にアジア＝アフリカ会議が開催された。

① あ－X

② あ－Y

③ い－X

④ い－Y

世界史 A

問 5 下線部㉔について述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① アメリカ合衆国の南部で、綿花プランテーションが成立した。
- ② ハーグリーブズが、ミュール紡績機を発明した。
- ③ 明代の中国では、綿花が栽培された。
- ④ イギリス産綿製品の輸入が始まると、インドの伝統的な綿織物業が打撃を受けた。

問 6 前の文章を参考にしつつ、アジアやアフリカの政治指導者について述べた次の文うとえの正誤の組合せとして正しいものを、後の①～④のうちから一つ選べ。

う ムスタファ＝ケマルが服装の改革を行ったのは、ローマ字の採用と同じ政策の一環である。

え ンクルマが現地の衣装を着たのは、シオニズム思想に基づくものである。

- ① う－正 え－正
- ② う－正 え－誤
- ③ う－誤 え－正
- ④ う－誤 え－誤

- C 中国では長い間、女性の足に幼少期から布を巻き付けて、足を小さくさせる纏てん足そくという風習があった。次の資料 1 は、纏足について述べた中国の知識人の文章の一部である。資料 2 は纏足反対運動について書かれたイギリス人の記録の一部である。(引用文には、省略したり、改めたりしたところがある。)

資料 1

女性の徳に足の大きさは関係ない。それなのに何百年も前から、士大夫の家々から庶民層に至るまで、女性は皆纏足をしている。北京や山西などの足の小ささは甚だしく、一方、広東や雲南などでは有力者の家でも纏足しない者もある。杭州や蘇州の女性の足が大きいのではなく、やり方が異なるのである。纏足は生活に無益で、世の教化にも影響がある。殷や周の時代を調べ、儒学の経典などを見ても、纏足が良いとは一言も書かれていない。我が王朝の **工** では八旗の女性は皆纏足せず、古代の教えがまだ残っているのは貴いことである。

資料 2

蘇州での纏足反対の集会で、演説を最前列で聞いていた女性は、蘇州で指導的な立場の女性らしかった。彼女は言葉を詰まらせながら「私は纏足について議論するのは嫌なのです。私の足のことを誰にも考えてほしくないのです。両足を解放して、天足会(注)に加入したい」と言った。「いえ、私が先です」と大声で言ったのは、蘇州でも最も古典の教養を持ち、詩文を書く能力のある女性だった。家族の意見を聞くとした女性のほかは、皆天足会に参加し、多くの人が纏足反対運動への協力を約束してくれた。それから間もなく義和団の運動が起こると、蘇州でも動揺が走った。私は、蘇州の女性たちが纏足からの解放をやめることを危惧した。

(注) 天足会—纏足反対運動の団体。

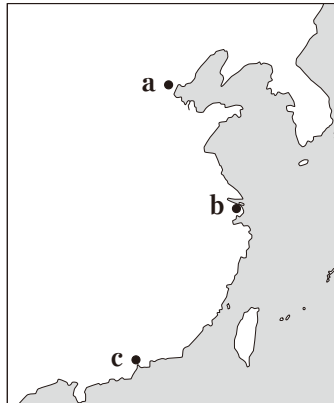
世界史 A

資料 1 を書いた知識人は、纏足に批判を加えつつも、それは儒学の経典などにうかがえる古代の教えを基準とした伝統的な枠組みでの議論にとどまっている。一方、土地の均分や男女平等の実現などを掲げた太平天国が纏足を禁止したが、その後の影響は小さかった。資料 2 を書いたイギリス人は、南京条約で開港された港の一つで、長江河口付近にある を起点に纏足反対運動を展開した。その主張は、女子教育や女性の社会進出へ結び付けられ、近代化を目指す人々の動きと合流することになった。

問 7 文章中の空欄 の王朝の歴史について述べた文として最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 租庸調制に代わり、両税法が施行された。
- ② 藩部の管轄のために、理藩院が設けられた。
- ③ 都の様子が、『清明上河図』に描かれた。
- ④ マカオが、ポルトガルから返還された。

- 問 8 文章中の空欄 **オ** の位置を示す次の図中の a ~ c と、中国に対するイギリスの政策について述べた文あ・いと組合せとして正しいものを、後の①～⑥のうちから一つ選べ。 **8**



中国に対するイギリスの政策

- あ 貿易制限の撤廃を求めて、マカートニーを派遣した。
 い 中国から膠州湾を租借した。

- | | |
|---------|---------|
| ① a — あ | ② a — い |
| ③ b — あ | ④ b — い |
| ⑤ c — あ | ⑥ c — い |

- 問 9 前の文章を参考にして、纏足の歴史について述べた文として最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 **9**

- ① 纏足は、孔子の教えに基づく伝統的な風習であった。
 ② 遊牧民の支配を受けることが多かった華北地方では、纏足の風習は行われていなかった。
 ③ 太平天国の滅亡から約 30 年後も、蘇州では古典の教養を持った女性は纏足をしていた。
 ④ 纏足廃止運動が行われるなか、蘇州を中心に義和団が排外運動を起こした。

世界史 A

第 2 問 歴史上の国民や国家に関する次の文章 A・B を読み、後の問い(問 1～6)に答えよ。(配点 20)

A 次の資料は、佐藤卓己『ヒューマニティーズ 歴史学』の一部を要約したものである。先生が資料を基に、歴史用語の翻訳について授業をしている。

資 料

「国民化(ナショナリゼーション)」という言葉は、日本では十分に理解されていない。歴史教科書でナチズム(ナショナル＝ソーシャリズム)を「国家社会主義」、ナチ党を「国家社会主義ドイツ労働者党」とする誤訳が今もって繰り返されていることから明らかである。ドイツ史研究者が「国家社会主義」の訳語を使うことはまずないが、辞書レベルでは「ナチズム」を「国家社会主義」と訳すことが多い。ここにはナチズムを大衆運動として捉える視点が欠落している。

ア 以来の健全な国民主権や民主主義の政治的伝統の上に、ナチズムは登場したのである。健全な市民的価値観こそ、同性愛者やユダヤ人などの「アウトサイダー」を捏造しつつ、ファシズム台頭期の国民主義を支えた精神的基盤であった。

先生：この資料に見られる「国民」や「国家」は、英語ではネイション(nation)と表記されます。皆さんの使っている教科書では、ナチ党は「国民社会主義ドイツ労働者党」と訳され、その一部に「国民」が入っていますね。「国家」は補足的に書かれているにすぎません。研究成果が、歴史用語の翻訳に反映された結果です。

赤木：歴史研究は常に更新されているのですね。**ア**の際に出された宣言では、第一条で自由と平等が掲げられています。資料と先生の解説から考えれば、第三条の**イ**という語句が、ナチ党の訳語とも関係しているということですね。次に、① 19世紀からファシズム台頭期にかけての「国民」に関連する歴史を調べてみようと思います。

先生：良い発想ですね。さらに、② ナチ党と大衆文化、特にメディアやプロパガンダとの関わりを併せて考えれば、資料中にある「国民化」と大衆との関わりが見えてくるでしょう。

- 問 1 文章中の空欄 **ア** の際に出された宣言の名あ・いと空欄 **イ** に入れる語句 X・Y との組合せとして正しいものを、後の①～④のうちから一つ選べ。 **10**

宣言の名

- あ アメリカ独立宣言
い フランス人権宣言

イ に入れる語句

- X 新しい政府を設けることが、人民の権利である
Y あらゆる主権の根源は、本質的に国民に存する

- ① あ－X
② あ－Y
③ い－X
④ い－Y

世界史A

問 2 下線部②について、国民の歴史に関する次の図Ⅰ～Ⅲに描かれている事柄が年代の古いものから順に正しく配列されているものを、後の①～⑥のうちから一つ選べ。 11

I



このポスターは、国民が総動員された戦争中に、同盟国側のドイツで作成された。軍需工場で働く女性が、兵士に武器を手渡す姿を描写している。

II



この絵画の中央に描かれている首相は、ドイツの国民主義を利用して、統一を果たした。

III



この絵画に描かれている革命は、自由主義運動と国民主義運動の高まりのなかで起こった。

① I → II → III

② I → III → II

③ II → I → III

④ II → III → I

⑤ III → I → II

⑥ III → II → I

問 3 下線部①について，次の年表に示した a～d の時期のうち，ヒトラーの率いるナチ党が第一党になった時期として正しいものを，後の①～④のうちから一つ選べ。 12

a	1895年 フランスのリュミエール兄弟が，映画を上映した。
b	1920年 アメリカ合衆国で，ラジオの公共放送が開始された。
c	1936年 ベルリンで，オリンピックが開催された。
d	

- ① a ② b ③ c ④ d

世界史 A

B あるクラスで、梁啓超の論説を取り上げた授業が行われている。

先生：近代中国の政治家・思想家であった梁啓超は、政治改革運動に失敗した後、◎日本に亡命します。彼は横浜で雑誌を創刊し、そこに多くの論説を掲載しました。次の資料はその一つで、1901年に発表された「中国史叙論」という文章の一部を要約したものです。

資料

我々が最も恥ずかしく思うのは、我が国に国名がないということである。「漢人」、「唐人」などは、特定の王朝の名を用いたものである。「震旦^{しんたん}」、「支那」などは外国からの呼び名で、我々の自称ではない。「中国」、「中華」と呼ぶのは尊大だという批判を免れないだろう。三者いずれも欠点はあるが、やむなく、やはり我々の口になじんだ言葉で「中国史」と呼ぼう。やや傲慢かもしれないが、民族がそれぞれの建てた国を尊重することは、今では世界共通の大義である。

小野：国名がないとは何だか意外ですが、王朝という区切りを超えた長い歴史をまとめて呼ぶときの名前が定まっていない、ということですね。そもそも「中国」という言葉は、いつ頃から存在したのですか。

先生：儒学の経典や『史記』などの古い文献に見えますし、さらに周代の青銅器の銘文にも「中国」と解釈できる文字があります。

白井：「中」という文字からは「中央」とか「中心」をイメージしますが、そういう意味があるのでしょうか。

先生：はい、そのため「中国」という言葉は異民族や周辺勢力との区別を示す場合にもよく使われました。

白井：それなら、ウ こともあったでしょうね。

先生：そうですね。「中国」という語は時代によって、それが指す地域や内容が異なります。

問 4 下線部㉔の要因となった出来事と、その出来事を説明した文との組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 13

- ① 甲申政変 — 李鴻章らによる洋務運動が失敗した。
- ② 甲申政変 — 康有為らによる変法運動(変法自強運動)が失敗した。
- ③ 戊戌の政変 — 李鴻章らによる洋務運動が失敗した。
- ④ 戊戌の政変 — 康有為らによる変法運動(変法自強運動)が失敗した。

問 5 文章中の空欄 ウ に入れる文として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 14

- ① 秦が、西夏に備えて修築した万里の長城の内側を指して用いる
- ② 江南が金によって支配された頃、華北に逃れた宋が自分たちのことを指して用いる
- ③ 明が、モンゴル高原の勢力を「北虜」と呼びつつ、自分たちのことを指して用いる
- ④ 清が、乾隆帝の時代に結んだネルチンスク条約で定めた境界の内側を指して用いる

問 6 前の文章から読み取れる梁啓超の立場について述べた文として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 15

- ① 各民族がそれぞれの建てた国を尊重するという大義に従い、漢人によって建てられた当時の王朝の事績を誇っている。
- ② 国名がなかったこれまでの歴史を反省し、中国共産党の主導によって新たな歴史を作り出そうとしている。
- ③ 全く欠点がないとは言えないが、漢代以前の古い時代から使われてきた「中国」という呼称を用いて、一貫した歴史を描こうとしている。
- ④ 歴代王朝の中でも特に強大であった漢あるいは唐を、新たな国名として採用しようとしている。

世界史A

第3問 20世紀を動かした政治家について述べた次の文章A～Cを読み、後の問い(問1～9)に答えよ。(配点 30)

A 次の資料は、1845年にハンガリーで生まれ、1868年からロシアでヴァイオリニスト、音楽教師として活躍したレオポルト＝アウアーが、1923年にアメリカで刊行した回想録の序章である。(引用文には、省略したり、改めたりしたところがある。)

資 料

省 略

(注) 現在の西暦では11月。

問 1 下線部②がロシアで開設された経緯について述べた文として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 16

- ① 啓蒙専制君主であったエカチェリーナ 2 世によって、開設された。
- ② 第一次ロシア革命(ロシア第一革命)を受けて、開設された。
- ③ ピョートル 1 世の西欧化政策によって、開設された。
- ④ ゴルバチョフによるペレストロイカの一環として、開設された。

問 2 文章中の空欄 ア と イ に入れる人物の名と、下線部⑤に対するアウアーの評価について述べた文あ・いとの組合せとして正しいものを、後の①～④のうちから一つ選べ。 17

アウアーの評価

あ 新しい政府が樹立されるが、それは大衆に活力を与えるものだったため、高く評価している。

い 新しい政府が樹立されるが、それは自分がロシアで築いてきたものを台無しにするものだったため、批判的に見ている。

	ア	イ	アウアーの評価
①	ケレンスキー	レーニン	あ
②	ケレンスキー	レーニン	い
③	レーニン	ケレンスキー	あ
④	レーニン	ケレンスキー	い

世界史 A

問 3 資料で描かれている事柄のうち、4月の状況について述べた文として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

18

- ① ポリシェヴィキによる一党独裁体制だった。
- ② 立憲民主党による一党独裁体制だった。
- ③ 臨時政府とソヴィエトとの二重権力状態だった。
- ④ 皇帝政府とソヴィエトとの二重権力状態だった。

B 次の資料は、1928年に刊行されたムッソリーニの『自叙伝』の一部の要約である。

資料

世界大戦が始まると、イタリアの世論は、によるの東部地域への侵攻に深く動揺した。がベルギーに侵入した際に犯したおぞましい犯罪行為が詳細に報道されていた。私は、戦争で苦境に立っている人をイタリアが見捨てるべきだという考えに耐えられなかった。

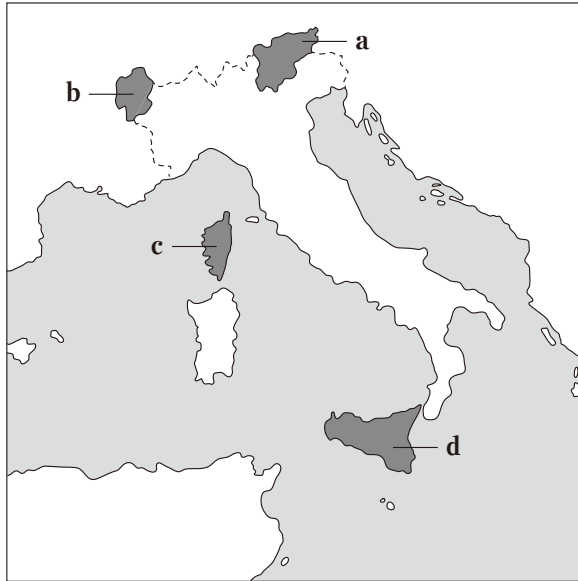
ムッソリーニは、第一次世界大戦前、植民地獲得に反対し、大戦が勃発した直後に中立論を主張した。しかし、間もなく資料にあるような参戦論に転じた。その後、政権を奪取すると、植民地獲得に乗り出している。さらに、第二次世界大戦に際して、当初は中立であったが、降伏寸前のに宣戦布告し、©19世紀のイタリア統一の際に割譲した地域を要求した。

問4 文章中の空欄とに入れる国の名の組合せとして正しいものを、次の①～⑥のうちから一つ選べ。

- ① ウーフランス エーロシア
- ② ウーフランス エードイツ
- ③ ウーロシア エーフランス
- ④ ウーロシア エードイツ
- ⑤ ウードイツ エーフランス
- ⑥ ウードイツ エーロシア

世界史 A

問 5 次の図中に示した a～dのうち、下線部㉔に含まれる地域の位置として正しいものを、後の①～④のうちから一つ選べ。 20



- ① a ② b ③ c ④ d

問 6 ムツソリーニが植民地化を目指して侵略したアフリカの国または地域の歴史について述べた文として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

21

- ① この地域の領有をめぐる、ベルリンで国際会議が開催された。
② イギリスとフランスが、この国でファショダ事件を起こした。
③ 19世紀の列強のアフリカ進出に際しても、独立を保持した。
④ セシル＝ローズ(ローズ)にちなんだ地域名が使われた。

C マルタ共和国の首都を訪れた青木さんが、現地のガイドとともに、チャーチルの胸像が設置されている広場に立ち寄った。

青 木：イギリスの首相だったチャーチルですね。でもなぜマルタ共和国に彼の胸像が置かれているのでしょうか。

ガイド：理由の一つとしては、彼が1945年のマルタ会談で、第二次世界大戦における戦略などについてアメリカ大統領のフランクリン＝ローズヴェルトと話し合ったことが挙げられます。

青 木：その後に行われたのが、ヤルタ会談でしたね。ヤルタ会談には、後の戦勝国の首脳3名が参加しましたが、そのうちの2名も、先ほどのチャーチルとローズヴェルトでしたね。

ガイド：そのとおりです。ところで、マルタ会談というと、1945年の会談以外で有名なものがあるのですが、そのことは知っていますか。

青 木：米ソの首脳が㊦冷戦の終結を宣言した時の会談ですね。

ガイド：そうです。そして、2004年にマルタ共和国は㊧ヨーロッパ連合、いわゆるEUに加盟します。後にEUへと発展するヨーロッパ共同体、つまりECは、その成立以降、イギリスやスペイン、ポルトガルなどの加盟を経て拡大しました。EUも発足後、加盟国を増やしていったのですが、その過程で、マルタ共和国と同時期に加盟したのが、冷戦後に民主化が進んだ旧社会主義圏の東欧の国々でした。

青 木：なるほど。この地は第二次世界大戦以降、各国の相互協力や和解に立ち会ったり、参加したりしてきたのですね。

世界史 A

問 7 前の文章を参考にしつつ、1945年のマルタ会談に参加せず、ヤルタ会談に新たに参加した人物について述べた文として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 22

- ① 一国社会主義を唱えてトロツキーを追放した。
- ② 上海クーデタを起こして共産党員を弾圧した。
- ③ キューバ危機でアメリカ合衆国政府に譲歩した。
- ④ 「炉辺談話(炉端の談話)」として知られるラジオでの語り掛けを行った。

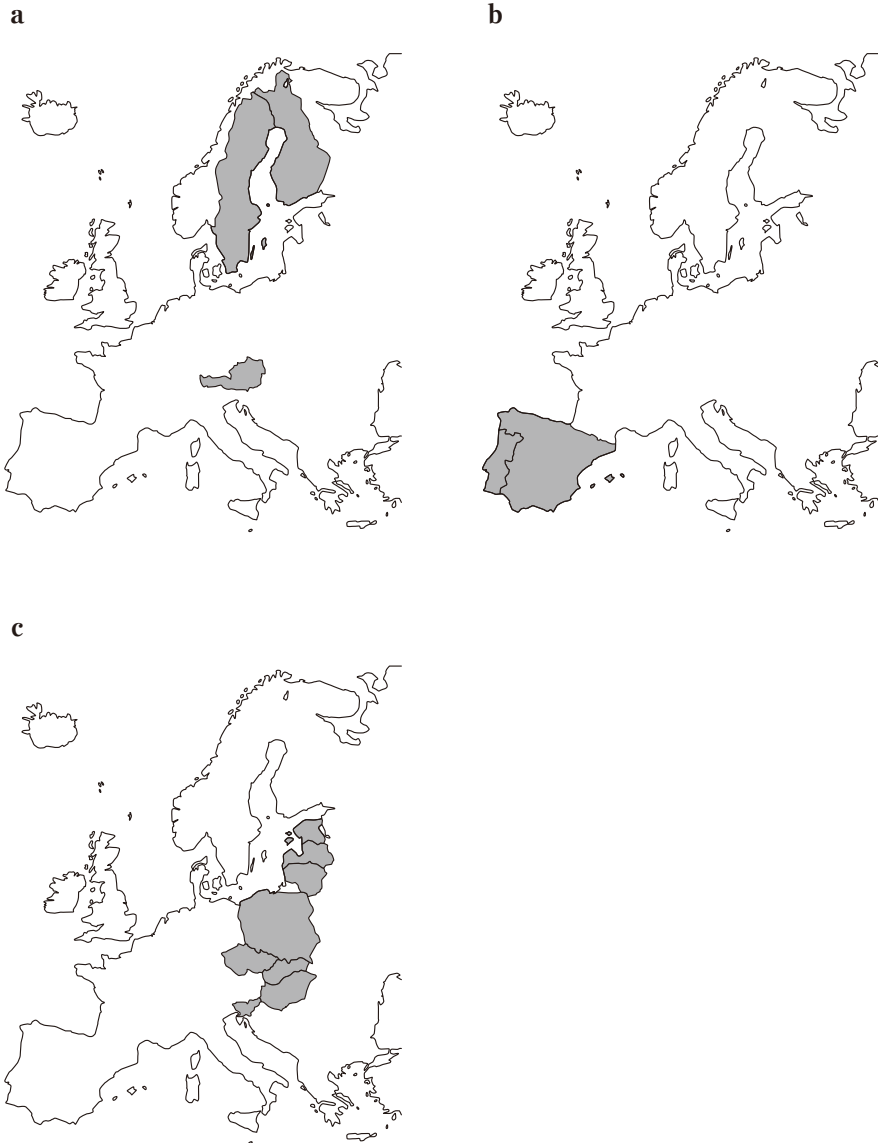
問 8 下線部①に関連して、冷戦後の世界情勢について述べた次の文章中の空欄 オ と カ に入れる語の組合せとして正しいものを、後の①～④のうちから一つ選べ。 23

北大西洋条約機構(NATO)に対抗してソ連と東欧諸国により1955年に結成された オ が1991年に解散した一方、2009年にアメリカ大統領に就任した カ により、冷戦の象徴であった核兵器の廃絶が主張された。

- | | | |
|---|------------------|---------|
| ① | オーワルシャワ条約機構 | カークリントン |
| ② | オーワルシャワ条約機構 | カーオバマ |
| ③ | オー経済相互援助会議(コメコン) | カークリントン |
| ④ | オー経済相互援助会議(コメコン) | カーオバマ |

問 9 下線部㉓に関連して、ECの発足以降、EC・EUに加盟した国を示した次の図a～cが年代の古いものから順に正しく配列されているものを、後の①～⑥のうちから一つ選べ。

24



- | | | |
|-------------|-------------|-------------|
| ① a → b → c | ② a → c → b | ③ b → a → c |
| ④ b → c → a | ⑤ c → a → b | ⑥ c → b → a |

世界史 A

第 4 問 統計資料は歴史への理解を深めてくれる。こうした資料について述べた次の文章 A・B を読み、後の問い(問 1～6)に答えよ。(配点 20)

A 次の表とグラフは、世界の主な地域におけるそれぞれの人口と世界 GDP(国内総生産)の地域別割合について 1500 年から 2003 年までの推計値をまとめたものである。いずれも残存する資料を収集・復元して作成されたものであり、世界経済の歴史的变化を大まかに把握できる。これらを手掛かりにすると、①歴史上の経済や生活の変化によって、現在の世界経済の構図が形成されてきたことが分かる。

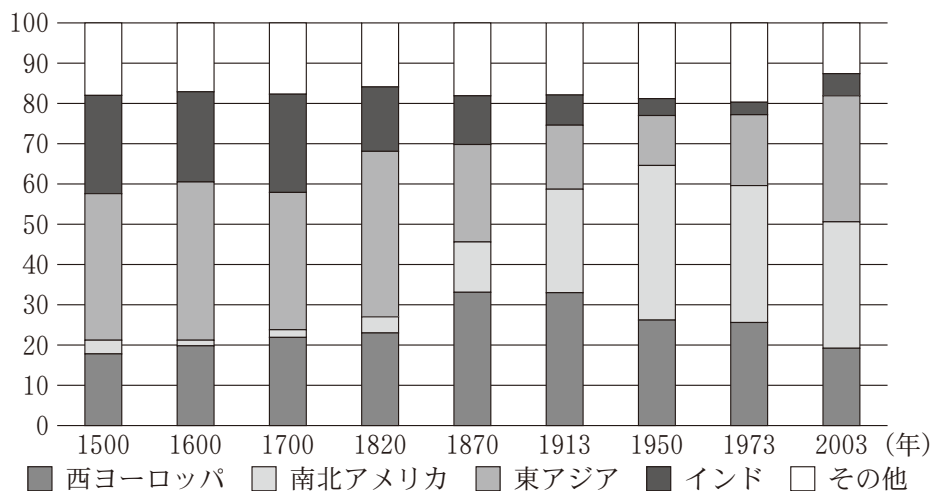
表 人 口

(単位：1000 人)

地域 \ 年	1500	1600	1700	1820	1913	2003
西ヨーロッパ	57332	73778	81460	133040	260975	394604
南北アメリカ	20300	10900	13800	32822	192336	887592
東アジア	156000	222100	215700	476228	634705	2434458

グラフ 世界 GDP の地域別割合

(単位：%)



(注) 表、グラフとも各値は、推計値を作成した時点の地域分類に準ずる。

(表、グラフともアンガス＝マディソン『世界経済史概観』より作成。ただし、地域区分の表示は一部変更している。)

- 問 1 表から読み取れる事柄あ・いと、その要因として考えられる最も適切な事柄 X～Z との組合せとして正しいものを、後の①～⑥のうちから一つ選べ。

25

表から読み取れる事柄

- あ 1600 年から 1700 年に西ヨーロッパの人口が減少している。
い 1820 年から 1913 年に南北アメリカの人口が増加している。

その要因として考えられる最も適切な事柄

- X 他の大陸から移民が流入した。
Y ベストが大流行した。
Z トウモロコシやサツマイモの栽培が普及した。

- ① あ－X ② あ－Y ③ あ－Z
④ い－X ⑤ い－Y ⑥ い－Z

- 問 2 下線部③について述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

26

- ① 大航海時代には、ヨーロッパの商業の中心が大西洋沿岸から地中海沿岸に移った。
② 産業革命期には、蒸気機関が鉄道や船に応用されて、長距離かつ高速の輸送が大規模に行われるようになった。
③ 19 世紀後半のドイツでは、鉄鋼業や化学工業などの重化学工業が発展した。
④ 20 世紀後半から、インターネットや携帯電話などの情報通信技術が発達した。

世界史 A

- 問 3 グラフから立てられる問いと、その問いに対する仮説について述べた文章中の空欄 **ア** と **イ** に入れる語の組合せとして正しいものを、後の①～④のうちから一つ選べ。 **27**

グラフから立てられる問い

1820 年以前の世界経済において **ア** が世界 GDP の最大を占めていたが、1870 年以降は西ヨーロッパと南北アメリカの合計が **ア** を上回るようになった。それはなぜか。

問いに対する仮説

要因の一つとして、西ヨーロッパに関しては、産業革命期にエネルギー資源として普及した **イ** が豊富に存在し、容易に利用できたことがある。それによって西ヨーロッパでは工業化が進むと同時に、人口が増加し、世界経済において **ア** に対して優位に立ったのである。

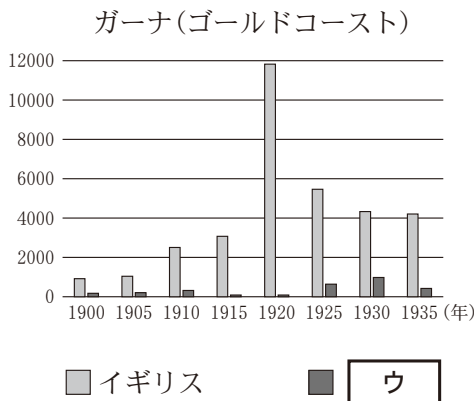
- ① **ア**—東アジア **イ**—石 炭
- ② **ア**—東アジア **イ**—石 油
- ③ **ア**—インド **イ**—石 炭
- ④ **ア**—インド **イ**—石 油

B あるクラスで、グラフを基にアフリカについての授業が行われている。(各グラフの縦軸の単位は、省略している。)

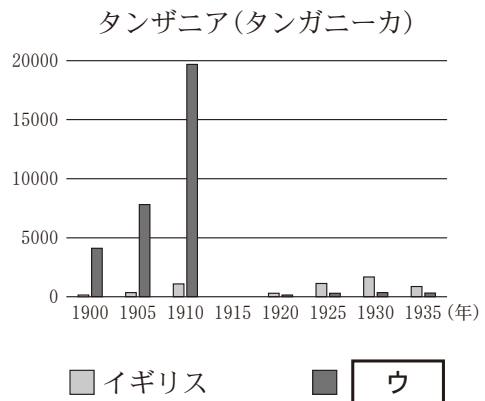
先生：次のグラフ1～4は、かつて西ヨーロッパ諸国の植民地だったアフリカ4か国における輸入額の推移を、主要貿易相手国別に表したものです。

石田：私たちのグループでは、グラフ1とグラフ2を比較しました。ガーナではイギリスの方が **ウ** よりも輸入額が多いのですが、タンザニアでは逆になっています。その理由として、それぞれの植民地と宗主国との関係が強く影響していると考えました。

グラフ1



グラフ2



(注) グラフ2の1915年の値は原典に記載がないため、グラフに表示していない。

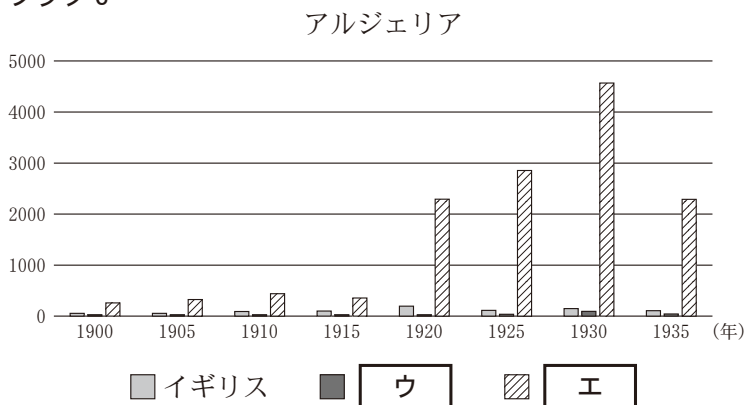
先生：確かに、グラフ1・2からは、そうした傾向があると言えますね。20世紀初頭にかけて、**ウ** による3B政策の推進など、列強による海外進出が世界各地で見られました。

工藤：私たちのグループは、グラフ2とグラフ3を比較しました。グラフ3でも、グラフ1・2と同様の傾向が見られます。

佐藤：一方で、グラフ2における **ウ** とグラフ3における **エ** の輸入額が、なぜこのように推移しているのかを考えました。その結果、世界的な出来事がそれぞれの国に影響しているのではないかと考えて、メモにまとめました。

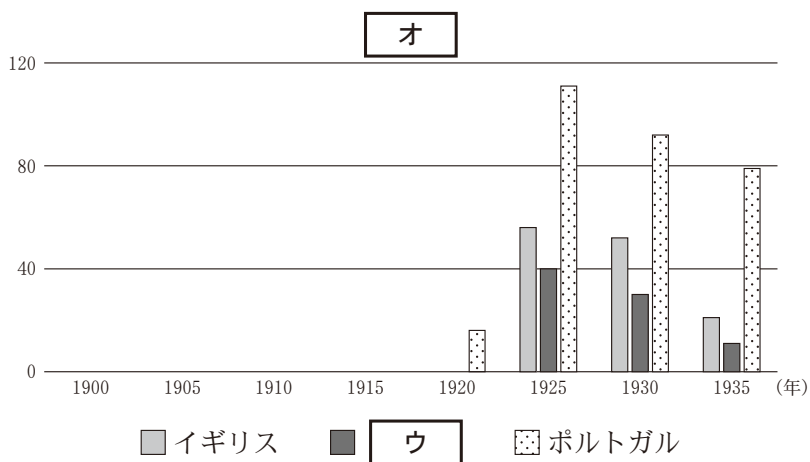
世界史 A

グラフ 3



先生：それは興味深いですね。では、**グラフ 4** の国の名はわかりますか。

グラフ 4



(注) **グラフ 4** の 1900 年、1905 年、1910 年、1915 年の値は原典に記載がないため、グラフに表示していない。また、ポルトガル以外の 1920 年の値は原典に記載がないため、グラフに表示していない。

(**グラフ 1**～**4** はいずれも B.R. ミッチェル編『マクミラン世界歴史統計』より作成)

石田：これまでの**グラフ 1**～**3**に共通していた傾向から、この**グラフ 4**の国は **オ** と考えられます。

先生：そのとおりです。その考えに至った過程も大切です。

問 4 文章中の空欄 **ウ** と **エ** に入れる国の名の組合せとして正しいものを、次の①～⑥のうちから一つ選べ。 **28**

- ① ウーフランス エードイツ ② ウーフランス エーイタリア
 ③ ウードイツ エーフランス ④ ウードイツ エーイタリア
 ⑤ ウーイタリア エーフランス ⑥ ウーイタリア エードイツ

問 5 生徒たちがまとめた次のメモの正誤について述べた文として最も適当なものを、後の①～④のうちから一つ選べ。 **29**

佐藤さんのメモ

グラフ2で **ウ** からの輸入額が、1910年から1920年にかけて増加しているのは、第一次世界大戦が発生したこと、さらにその後、**ウ** が海外植民地を失った影響があるからだと考えられる。

工藤さんのメモ

グラフ3で **エ** からの輸入額が、1930年から1935年にかけて減少しているのは、ドイモイ(ドイ=モイ)によって **エ** の経済活動が打撃を受けたからだと考えられる。

- ① 佐藤さんのみ正しい。 ② 工藤さんのみ正しい。
 ③ 二人とも正しい。 ④ 二人とも誤っている。

問 6 文章中の空欄 **オ** に入れる国の名として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 **30**

- ① アンゴラ ② エジプト ③ 東ティモール ④ リベリア